

第5回宇和島市民協働のまちづくり推進指針策定委員会 会議録

■日時:令和5年2月21日(火) 11:00 ~11:50

■場所:宇和島市役所 3階 第一委員会室

■出席者氏名

井上教、清家平、清家裕二、谷本友子、林昭子、前田眞、宮本直明、山本裕子、吉岡清美、若宮里美

■欠席者氏名

折原理恵、佐々木護、杉浦亘、向田麻里

■事務局職員氏名

市民環境部 (部長)古谷

市民環境部市民課 (課長)平田、(課長補佐)中川、(市民協働推進係長)東、(主任)武田

■会議次第

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 説明・協議事項

(1)「宇和島市民協働のまちづくり推進改訂案」について ……〈資料1〉

はじめに

第1章 指針策定(改訂)の目的

第2章 宇和島市の現状と課題

第3章 協働の考え方

第4章 協働を推進する体制づくり

用語集

資料(アンケート結果概要)

(2)「パブリックコメント」の実施結果について……………〈資料2〉

(3)「答申式」について……………〈資料3〉

(4)「策定(改訂)のスケジュール」について……………〈資料4〉

4. そのほか

資料1「宇和島市民協働のまちづくり推進指針改訂案」

資料2「パブリックコメントの実施結果」

資料3「答申式」

資料3「策定(改訂)のスケジュール」

■会議内容

1. 開会

・事務局から、委員出席者数報告。

2. 委員長挨拶

・委員長から挨拶。

3. 説明・協議事項

「宇和島市民協働のまちづくり推進改訂案」について…〈資料1〉

■はじめに

(事務局)

「はじめに」について説明。詳細は資料のとおり。

(各委員)

特になし。

■第1章 指針策定(改訂)の目的

(事務局)

「第1章 指針策定(改訂)の目的」について説明。詳細は資料のとおり。

(各委員)

特になし。

■第2章 宇和島市の現状と課題

(事務局)

「第2章 宇和島市の現状と課題」について説明。詳細は資料のとおり。

(各委員)

特になし。

■第3章 協働の考え方

(事務局)

「第3章 協働の考え方」について説明。詳細は資料のとおり。

(2)協働の領域にある協働の領域図の番号を、⑤から④へ修正する。

(各委員)

修正について了承。特になし。

■第4章 協働を推進する体制づくり

(事務局)

「第4章 協働を推進する体制づくり」について説明。詳細は資料のとおり。

主な修正点として、(1)協働のまちづくり推進体制の整備にある③財政支援・制度の充実を「③多様な主体による財政支援・制度の充実」という表現に修正し、文中内、「各種支援制度による支援や制度の充実を図ります」から「新たな協働の在り方に対応した各種支援制度の充実を図ります」という表現に修正。また、同章④行政の体制強化の文中内、「幅広く地域課題や地域資源・人材等の情報を集約し」から「幅広く地域課題や地域資源・人材・資金等の情報を集約し」という表現に修正する。

(委員長)

今回、事務局から指針改訂内容について説明があった。今回の協議内容を踏まえ、若干の修正箇所を直した上で答申案として市長へ答申するがよろしいか。

(各委員)

修正について了承。

「パブリックコメント」の実施結果について…<資料2>

(事務局)

「パブリックコメント」の実施結果について説明。詳細は資料のとおり。

1/19～2/8 までの3週間、意見を募集。募集結果として、3名から6件の意見をいただいた。「指針に関すること」のご意見が1件、「各章に関すること」のご意見が3件、「その他」に関するところが2件となっている。(募集の概要、結果、回答概要は資料のとおり説明。)

(委員長)

パブリックコメントのご意見、市の対応などについてご意見を伺いたい。

(各委員)

特になし。(一点、字句の修正有。)

(委員長)

今回、策定委員からの各団体等への声掛けもあり、3名6件のご意見をいただいた。パブリックコメントの周知について、委員の皆様の協力に感謝したい。

「答申式」について…<資料3>

(事務局)

「答申式」について説明。詳細は資料のとおり。

策定委員会を代表して委員長、副委員長に出席いただき、答申書と指針(答申案)を前田委員長から市長へ渡していただきたい。場所は市長室にて開催予定。

(委員長)

事務局の説明のとおり答申してよいか。

(各委員)

了承。

「策定(改訂)のスケジュール」について…<資料4>

(事務局)

「策定(改訂)のスケジュール」について説明。詳細は資料のとおり。

本日2/21(火)、第5回策定委員会閉会の後、市長答申を実施予定。答申後、市にて指針策定(改訂)の手続きを行い、施行に向け手続きを進めたい。なお、策定(改訂)された指針は、市ホームページ等にて、公表させていただきたい。

(各委員)

了承。

4.そのほか

(委員長)

本日をもって、本策定委員会の審議は終了となります。皆様、5回に渡る策定委員会にて審議いただき、本当にありがとうございました。

今回の指針策定は、皆様の様々な意見をいただきながらという形で進めてきた。「すべての人が住みやすい宇和島市」とするための立場と委員の皆様それぞれが置かれている立場のご意見について、調整していただきながら、建設的な意見が出されたことに感謝申し上げたいと思います。併せて、事務局も意見をまとめる中で精力的に動いていただき、大変ありがとうございました。

この指針(案)を市に答申させていただくこととなりますが、最後に皆様から一言ずつ、感想も含めご意見をいただければと思います。

(委員)

指針(案)に書かれてあることを実践するということが一番大事なことです。市にもしっかりと伝えていただきたい。指針(案)に書かれてあることを実践することで、多方に宇和島のことを発信できるのではないかと思います。

(委員)

参加させていただいて思ったこととして、現場でいろいろと活動している、いわゆる地区社協や学校のCS活動みたいなものをしている所は、いわゆる人集め、協力していただける方がどれだけいるかというところが一番難しい。指針の考え方を浸透していただければ、市民の方々が協力していただけるのかなと思っています。指針は以前からあったということだったが、指針があったということもよくは知りませんでした。指針(案)が改訂されたので、市民の方々に周知していただけたらと思っています。

(委員)

良いものができたと思います。特に、まちづくりの協働のプロセスで、終わりはなく、グルグル回ってまた見直すということが続いていけば、進め方のスピードはいろいろあると思うのですが、続けていくことが一番大事なことはないかと思いました。

(委員)

今回、色々な、個々の団体の活動というのが見えてくると、横で繋がって、また協働していくことによって、すごく良いまちづくりになっていくと思っています。NPO団体の活動について、中間支援組織として、宇和島NPOセンターが繋がっていくことで、色々な方と同じ目的でもって動いていくことによってすごく良い宇和島市になるのではないかなと思っています。皆様でいろんな情報共有しながら、盛り上げていけるようなまちづくりができたらいいと思っていますのでよろしく願いいたします。

(委員)

指針(案)ができ、アイデアが活用できていくのかなと思っています。また、高齢者の方の活動の幅も広がっていくのではという期待と今後広く周知され宇和島市が活性化していくことで、誰一人取り残さない

宇和島市ができていくことに期待しています。

(委員)

指針(案)が一つのバイブルのような形で良いものができたが読んでもらってないというのでは意味が無い。皆様に一度は読んでもらうためにこれからどういう風にして広報していくかということが大切だと思います。市民の方がそんな指針があったのかということにならないようにしていただきたい。皆様ご苦労様でございました。ありがとうございました。

(委員)

指針(案)の内容を見て理解が深まっていったように思います。そのように市民の方にも何回か目を通していただけるようなことが大切ではないかと思えます。インターネットとかそういうのが大変普及していますので、そういったものを活用して見ていただけるのではないかと考えております。色々ありがとうございました。

(委員)

正副委員長、本当にお疲れ様でした。裏方の事務局の大変さがひしひしと分かりました。本当にご苦労さまでした。良い指針(案)ができましたので、案にあるようにすべての人が住みやすい宇和島市の実現に向けた形として、私たちも商工団体をまとめる経済団体になるため、いかにどのような関わり方をできるかということを考えながら、良い宇和島市になるような方向性を考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

(委員)

委員長、委員、事務局の皆様、本当にお疲れ様でした。この委員会のメンバーとして関わらせていただいたこと本当にありがたかったと思っています。皆様の意見に、気づきや学びをいただきながら、また事務局の姿勢にも感心させていただき、私自身、社会福祉協議会という立場でも、本当に皆様の取り組み、姿勢が参考になるところがありました。関わらせていただいて本当によかったなと感謝しているところです。同時に、アンケートでもこんなに協働について住民の皆さんの関心が高いということが証明され、これを実践に移せるように、それぞれの機関でしっかりその役割を果たしていかないといけないと強く感じたところです。

そして、皆様や市民の皆様、それぞれの組織や企業が、自分の得意なところについて、指針(案)の中にもありますが、そこを見つめ直して、得意な分野で関わること・協働することが本当に楽しいと、人の役に立つことが、煩わしいことも時々あるけども、目的を達成した時には本当に喜びが何倍にもなり協働って良いなと思えるような方が増えることや、協働が文化になるようなことになっていけたら良いなと今日この席でつくづく感じました。そういう希望が持てる指針になったのではないかと考えています。本当に皆様ありがとうございました。

(委員)

ありがとうございました。良い指針(案)ができたので、いかに実践し、道具として使っていくのかということすごく大事だと思います。今までは協働指針の策定が目的だったけれども、これからはその指針を手段として使ってどういう社会を作っていくのかということが大事になると思います。

是非、そういう場面で、皆様のご協力をいただきながら進めていけたら良いと思います。本当に皆様に感謝しながら、この策定委員会を終わりたいなと思います。皆様大変ご協力ありがとうございました。

■答申式(予定)

日時：令和5年2月21(火) 14時00分～

場所：宇和島市役所 4階 市長室

■本会議録作成者

宇和島市 市民環境部 市民課 市民協働推進係 東

以上